（様式－3）

再発防止対策報告書

東北支部

発生日時	令和４年１２月１９日（月曜日）　９時２５分頃							天候	雪	
災害の程度	死亡　名		負傷　１名		職種 組立工			年令　７４才	経験年数３７年	
工事の種類	調査測量	伐採	運搬	仮設	基礎	組立	足場	架線	撤去	その他
災害の種類	墜落・転落	転倒	物の飛来・落下	崩壊・倒壊	はさまれ・巻き込まれ	切れ・こすれ	感電	その他		
原因	作業準備の不良	作業方法の不良	工具防具の不良	電気工作物の不良	作業者の過失	共同作業者の過失	その他			

災害の状況

［件　　名］　折れた樹木が頭部に落下し受傷

［作業内容］　伐採範囲の調査

［発生状況］　樹木が雪の重みで裂け始めた時に冠雪が落ち、曲がっていた樹木が元通りまっすぐに持ち上がった反動で裂け目から樹木が折れて被災者へ向け落下した。

［被災程度］　外傷性くも膜下出血

［服装・装備］　作業服上下、防寒服上下、皮手袋、長靴、保安帽

原因及び対策

［発生原因］

・著しく曲がった樹木（杉）の状態を確認する際，万が一折れた時に落下するであろう範囲まで近づいた。

・今後の作業への影響を確認するために著しく曲がった樹木（杉）へ近づく際，樹木が折れるリスクを作業員相互で声掛けしていなかった。

［再発防止対策］

・作業員全員で『冠雪により曲がった樹木のリスク』に加え，『冬季特有のリスク』について再確認する。

・立入る場所に冠雪により著しく曲がった樹木がないことを目視で確認し，管理職員と作業員の相互で声掛けしてから作業開始する。

・冠雪により著しく曲がった樹木を発見した場合は，樹高の２倍以上の水平距離を確保した位置から撮影した画像で判断を仰ぐ。

（注）1.「人身災害報告要領」に基づいて記載するものとし、「工事の種類」「災害の種類」「原因」については該当項目に○印を付ける。

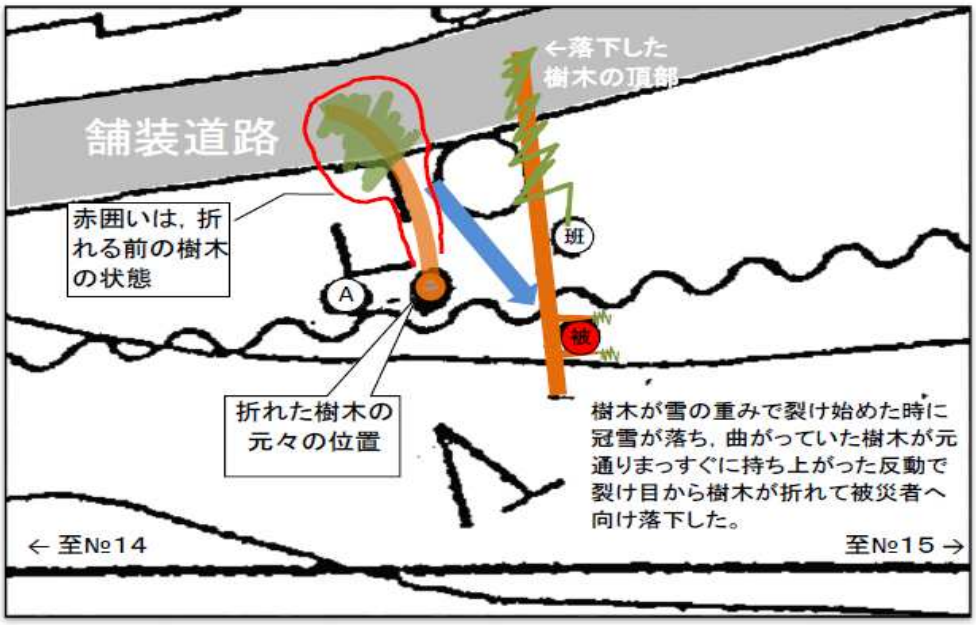
2. 災害状況の説明と共になるべく図面を添付すること（様式－2）。
特に感電の場合は支持物、電線の離隔距離その他寸法を記入する。

（様式－2）

災　害　概　要　図

発生場所

発生状況



被　被災者（現場代理人）

班　作業班長

A　作業員A